

平成 30 年度 滋宏福社会 事業報告

施設経営の透明性の確保・職員の経営理念・経営方針の共有化を図り、施設利用者がより安全で安心して生きがいもてる、地域社会への開かれた施設運営をめざし、法人本部の機能強化並びに人材確保・育成策等を充実強化することを目的として、事業を実施しました。

1. 評議員会の開催

(1) 平成 30 年 6 月 16 日 (土) 午後 1 時 30 分から午後 3 時

障がい者支援センター「てらだ」3 階 会議室

評議員定数 7 名以上 11 名以内、現在員 11 名中出席者 8 名

出席役員 理事 (2 名)・監事 (2 名)

(決議事項)

第 1 号 平成 29 年度事業報告 (案) について

第 2 号 平成 29 年度決算報告 (案) 及び監査報告について

(報告事項)

第 1 号 有期契約職員の就業規則の一部改正について

第 2 号 職員の昇給について

(2) 平成 30 年 10 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分

医療法人達磨会 東加古川病院新館 4 階 多目的ホール

評議員定数 7 名以上 11 名以内、現在員 11 名中出席者 8 名

出席役員 監事 (2 名)

(報告事項)

第 1 号 障がい者支援センター「てらだ」各事業運営規程の改正について

①施設入所支援事業運営規程の改正

②生活介護事業運営規程の改正

③自立訓練 (生活訓練) 事業運営規程の改正

④短期入所事業運営規程の改正

⑤就労継続支援 (B 型) 事業第 1 工房運営規程の改正

⑥就労継続支援 (B 型) 事業第 2 工房運営規程の改正

⑦地域活動支援センター運営規程の改正

⑧相談支援事業運営規程の改正

第 2 号 事業中間 (4 月から 9 月) 実績報告について

①利用状況推移及び事業収支中間報告

②各事業中間報告

第3号 第2回ふれあい地域交流会実績報告について

(3) 平成31年3月28日(木) 午後2時00分から午後3時30分

障がい者支援センター「てらだ」3階 会議室

評議員定数7名以上11名以内、現在員11名中出席者7名

出席役員 理事(1名)・監事(2名)

(決議事項)

第1号 平成30年度補正予算(案)について

第2号 平成31年度事業計画(案)について

第3号 平成31年度事業予算(案)について

(報告事項)

第1号 社会福祉法人滋宏福祉会 給与規程の一部改正について

第2号 社会福祉法人滋宏福祉会 就業規則の一部改正について

第3号 障がい者支援センター「てらだ」運営規程の一部改正について

第4号 業務用エアコン交換設置工事について

第5号 一般相談支援事業(地域移行支援、地域定着支援)指定更新について

第6号 地域活動支援センター事業に係る指定有効期間更新の現地調査について

第7号 職員給与の昇給について

2. 理事会の開催

(1) 平成30年5月26日(土) 午後1時30分から午後3時

医療法人達磨会 東加古川病院新館4階 多目的ホール

理事定数6名以上10名以内、現在員10名中出席者9名

監事定数2名、現在員2名中1名

(議題)

第1号 平成29年度事業報告(案)について

第2号 平成29年度決算報告(案)及び監査報告について

第3号 有期契約職員の就業規則の一部改正について

(報告事項)

第1号 職員の昇給について

(2) 平成 30 年 10 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分

医療法人達磨会 東加古川病院新館 4 階 多目的ホール

理事定数 6 名以上 10 名以内、現在員 10 名中出席者 8 名

監事定数 2 名、現在員 2 名中 2 名

(議題)

第 1 号 障がい者支援センター「てらだ」各事業運営規程の改正について

- ①施設入所支援事業運営規程の改正
- ②生活介護事業運営規程の改正
- ③自立訓練（生活訓練）事業運営規程の改正
- ④短期入所事業運営規程の改正
- ⑤就労継続支援（B 型）事業第 1 工房運営規程の改正
- ⑥就労継続支援（B 型）事業第 2 工房運営規程の改正
- ⑦地域活動支援センター運営規程の改正
- ⑧相談支援事業運営規程の改正

(報告事項)

第 1 号 事業中間（4 月から 9 月）実績報告について

- ①利用状況推移及び事業収支中間報告
- ②各事業中間報告

第 2 号 第 2 回ふれあい地域交流会実績報告について

(3) 平成 31 年 3 月 23 日 (土) 午後 1 時 30 分から午後 3 時

医療法人達磨会 東加古川病院新館 4 階 多目的ホール

理事定数 6 名以上 10 名以内、現在員 10 名中出席者 8 名

監事定数 2 名、現在員 2 名中 2 名

(議題)

第 1 号 平成 30 年度補正予算（案）について

第 2 号 平成 31 年度事業計画（案）について

第 3 号 平成 31 年度事業予算（案）について

第 4 号 滋宏福社会 給与規程の一部改正（案）について

第 5 号 滋宏福社会 就業規則の一部改正（案）について

第 6 号 障がい者支援センター「てらだ」運営規程の一部改正（案）について

第 7 号 業務用エアコン交換設置工事について

(報告事項)

第1号 一般相談支援事業（地域移行支援、地域定着支援）指定更新について

第2号 地域活動支援センター事業に係る指定有効期間更新の現地調査について

第3号 職員の昇給について

3. 寄付採納

(1) 平成30年6月7日

医療法人達磨会東加古川病院様

簡易テント 163,285円

(2) 平成31年2月3日

野口山町内会様

現金 10,000円

(3) 平成31年2月28日

加古川市立平岡中学校様

車椅子1台 68,000円



4. 施設整備

(1) 施設入所支援事業

業務用給湯器4台 988,200円

防犯カメラ 198,180円

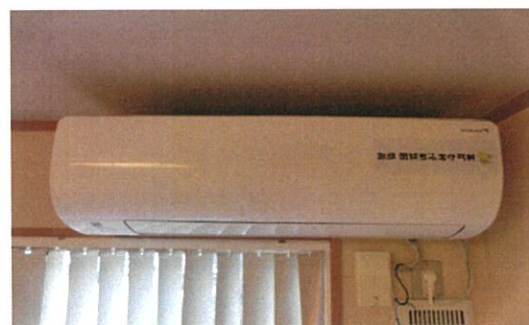
ダイキン居室エアコン33台 3,100,000円

(2) 就労継続支援(B型)事業 第1工房

ノートパソコン1台 318,600円

(3) 就労継続支援(B型)事業 第2工房

ノートパソコン2台 466,560円



5. 研修等

職員の研修会の参加については、兵庫県社会福祉協議会研修センター主催の研修会を中心に参加し、職員の資質向上に努めました。尚、研修結果の報告については、報告書を提出する方法で行いました。

(1) 外部研修参加状況 : 兵庫県社会福祉協議会主催研修 15回 3名

(接遇研修・権利擁護研修・財務管理研修等)

: 福祉のまちづくり研修所主催研修会 5回 2名

(相談支援初任者研修・サービス管理責任者等研修)

: その他の研修会・セミナー等

(給食協議会研修会・就業支援研修会)

(2) 内部研修実施状況 : 法人・施設主催

①職場研修会

②人権啓発研修会

③内部研修発表会

(3) 安全委員会 年 5回

平成 30 年度事故報告

・職員による事故 … 8 件

・利用者による事故… 6 件

・ヒヤリ・ハット事例…70 件

利用者が施設において、安心・安全な生活が送れるよう、
ヒヤリ・ハット事故報告書により未然防止及び再発防止に努めました。

6. 運営管理及び財務状況の概要

(1) ふれあい地域交流会では、新たな事業所の参加もあり盛大に開催することができました。又、地域住民研修会を開催し地域とともに地域福祉の向上・地域の活性化に努めました。

(2) 開設から 11 年が経過し、施設の改修・修繕・備品の交換が必要不可欠な箇所がある中で、助成金を活用できる部分については積極的に行いました。
(神戸やまぶき財団助成金…居室エアコン 33 台入替)

(3) 平成 30 年度の上半期は自然災害等に悩まされ、利用率も昨年に比べ減少しました。下半期に至っては、インフルエンザ等の集団感染が無かったため、稼働率が安定したことで当初事業計画では、障害福祉サービス等事業収入、月額 1,900 万円を見込んでいましたが、最終平均月額 1,940 万円の収益がありました。

収支差額の増額理由として

①効果的・効率的な運営

②各事業の連携

③コスト削減

が考えられます。増額収入については、建物立替積立金の積立金として積立を行いました。

I. 入所部門 事業報告

1. 施設入所、生活介護、自立訓練（生活訓練）、短期入所の利用状況について

事業	定員 (人)	H28年度		H29年度		H30年度	
		利用率 (%)	利用料 (円)	利用率 (%)	利用料 (円)	利用率 (%)	利用料 (円)
施設入所	30	93.8	38,486,667	94.7	39,281,824	97.2	39,867,837
生活介護	20	85.9	34,544,390	92.0	38,460,211	91.3	38,914,175
自立訓練	10	91.1	18,688,159	78.7	16,220,943	90.2	18,950,941
短期入所	2	71.6	2,778,917	80.4	2,951,549	67.9	2,586,380
合計			94,498,133		96,914,527		100,319,333

2. 施設入所者の地域生活移行について

移行先	一人暮らし	グループホーム	入院	合計
移行人数	3名	1名	1名	5名
性別・年代	男性・50代3名	女性・50代1名	男性・60代1名	

3. 新規入所者

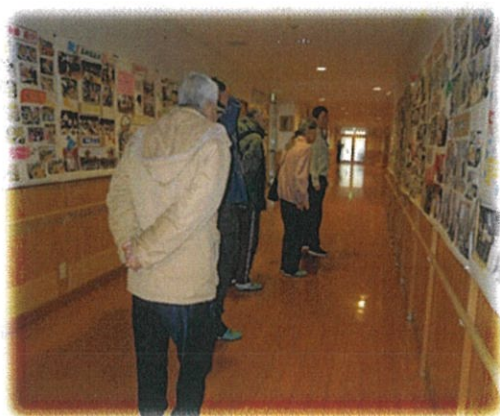
事業	生活介護	自立訓練	合計
性別・年代	男性・60代1名	男性20代1名、30代1名 40代1名、50代1名	5名

4. 活動報告

- (1) 病院（男女混合開放病棟）と入所部門との交流会：「てらだ」入所利用者と東加古川病院入院患者様で交流を持つことにより退院促進や退院の動機付け、地域の社会資源につながるよう、加えて病院スタッフにも「てらだ」の生活を知ってもらうことを目的に行いました。グループワークでは、「てらだ」利用者の方に司会や退院後の生活の説明を行ってもらいピアサポーター的な役割を担ってもらいました。



- (2) 高齢者の暮らし方を考えるため加古川市高齢者・地域福祉課と相談し 65 歳以上の高齢者数名と養護老人ホームの鶴林園に見学会を行いました。
- (3) 精神科病院入院患者様の体験入所を 4 名の方が延べ 12 日間行いました。
- (4) 自立訓練を中心に日常生活が過ごしやすくなるために、SST（生活技能訓練）で困った場面をロールプレイで練習しました。また対人関係を少しでも上手くやっていけるように思考、感情、行動の相互関係について座学で学ぶ機会を続けました。
- (5) 定期的な活動：ウォーキング（寺田池周辺）、体操（ウエルネス体操、棒体操、ピンシャン体操、お口の体操）、趣味クラブ（カラオケ、塗り絵、編み物、将棋、プラモデル等）、健康会（体重測定、栄養士と勉強会）スポーツ（卓球、輪投げ、ウォーキング等）、お仕事チーム（軽作業）、掃除（居室、共有スペース、風呂、洗面所等）、買い物（イオン等）、銀行（個別の出金）、金銭管理（出納帳チェック）、脳トレ、ミーティング、暮らしについて、SST（生活技能訓練）、レクリエーション（ゲーム等）、その他 個別の支援
- (6) 行事：花見（姫路城）、映画会、食事会、七夕会、盆踊り、ミニ運動会、バーベキュー、ヤクルト工場見学、クリスマス会、忘年会、節分会等
- (7) 精神保健福祉士の学生 2 名を 3 週間から 4 週間、作業療法士の学生 5 名を 2 週間から 8 週間、実習の受け入れをしました。



Ⅱ. 就労継続支援B型第1工房 事業報告

- ・平成31年3月現在の契約者数 58名
- ・平成30年度退所者数 8名

体調不良	就労	他施設へ	その他
2	3	3	0

- ・平成30年度新規利用者数 9名

・利用率及び平均工賃

	利用人数 (人)	延人数 (人)	事業日数 (日)	利用率 (%)	平均工賃 (円)
4月	43	559	24	116.5	12,326
5月	43	639	24	133.1	14,174
6月	45	551	26	106.1	11,781
7月	43	488	25	97.6	11,608
8月	41	523	26	100.6	12,142
9月	43	417	23	90.7	9,525
10月	44	598	26	115.0	13,132
11月	47	592	24	123.3	11,565
12月	44	505	24	105.2	10,911
1月	43	524	23	113.9	11,651
2月	42	501	23	108.9	11,000
3月	44	564	25	112.8	11,111
平均	43.5	538.4	24.4	110.3	11,743
前年度平均	49.66	592.1	24.6	120.4	10,635

・活動報告

- 収益事業 : 施設外就労 東加古川病院清掃
 金澤産業リサイクル品分別
 金澤産業工場内作業
 軽作業 安全興業 (マルチキーパー、チェーンポール等梱包作業)
 ハリマパッケージ (段ボール組立)

	クリーニング京屋（タオルたたみ作業）
清掃作業	施設内清掃 東加古川病院クリーニング 東加古川病院、緑寿苑 4 月、10 月エアコンフィルター清掃 東加古川病院病棟浴室カビとり 雑木林清掃管理
パン工房	パン製造、販売（配達・平岡中学校・安全興業） となっている他、スポットでの作業も行っています。

収益事業全体として平成 30 年 3 月でアパート清掃が終了しましたが、平成 30 年 7 月より金澤産業工場内作業が始まり、平成 31 年 3 月からタオルたたみ作業が始まったことで前年度とほぼ同額の収益となっています。

就労支援 : 5 名の方が就労へ移行されています。

4 月	就労 A	W I N G
6 月	オープン就労	東加古川病院クリーンキーパー
7 月	クローズ就労	アコーディアガーデン加古川
12 月	就労 A	フラップ
2 月	クローズ就労	運送会社

毎週金曜日の午後から仕事のための勉強会、利用者同士で生活や対人面で困っている事を話し合うプログラムを行っており、毎回 10～15 名の方が参加しています。

Ⅲ. 就労継続支援B型第2工房 事業報告

- ・平成31年3月現在の契約者数 33名
- ・平成30年度退所者数 3名
- ・平成30年度新規契約者数 3名

・利用率及び平均工賃

	利用人数(人)	延人数(人)	事業日数(日)	利用率(%)	平均工賃(円)
4月	30	501	24	104.4	8,540
5月	31	517	24	107.7	8,448
6月	29	494	26	95.0	9,227
7月	30	456	25	91.2	7,980
8月	29	483	26	92.9	8,892
9月	32	387	23	84.1	6,127
10月	32	517	26	99.4	8,846
11月	30	508	22	115.5	9,382
12月	30	508	22	115.5	13,038
1月	30	464	21	110.5	8,180
2月	30	465	21	110.7	8,776
3月	31	508	23	110.4	9,549
平均	30.33	484	23.58	102.6	8,915
前年度平均	32.66	514.16	24.58	104.6	8,979

・利用料収入

	利用料(円)	利用延数(人)		利用料(円)	利用延数(人)
H25年度	14,084,324	2,031	H28年度	45,675,077	6,203
H26年度	33,752,286	4,831	H29年度	45,789,795	6,170
H27年度	39,010,176	5,600	H30年度	46,300,820	5,808

作業収入においては、台風や猛暑といった農作物にとっては厳しい天候のせいもあり収穫が振るわず、農作業収入の減収が特に目立っています。

利用料収入においては、夏場の休所等の影響もあり利用延数自体は減少したものの、重度支援者加算で一番高い加算が算定でき単価自体が上がったため、第2工房開所以来、過去最高の収入となっています。

IV. 地域活動支援センター 事業報告

- ・平成 31 年 3 月現在の登録者数：30 名
- ・平成 30 年度新規契約者数：3 名
- ・住所地内訳：加古川市 23 名、高砂市 0 名、播磨町 4 名、稲美町 3 名
- ・障害種別内訳：精神 10 名、知的 17 名、身体 0 名、知的+精神 3 名

・利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数 (人)	259	243	270	246	259	218	271	260	264	242	219	227	2,978
開所日数 (日)	24	24	26	25	24	21	26	23	23	23	23	25	287
1日平均 (人)	10.8	10.1	10.4	9.8	10.8	10.4	10.4	11.3	11.5	10.5	9.5	9.1	10.4

・補助対象となる利用者数（人）…月 5 日以上、年 60 日以上来所のある利用者

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
加古川市	17	18	17	17	17	17	17	16	15	15	14	14	194
高砂市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
播磨町	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
稲美町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全体合計	21	22	21	21	21	21	21	20	19	19	18	18	242

・運営補助金額：13,260,000 円

加古川市	高砂市	播磨町	稲美町
10,631,000 円	0 円	1,972,000 円	657,000 円

・活動内容

ミーティング、誕生会、運動部、お仕事タイム、てらだ Café、クッキングボランティアによる活動（陶芸・茶道・書道・コーラス・フラワーアレンジメント等）イベントでの手作り作品の販売、研修会（地域住民やご家族を含む）行事（花見、BBQ、工場見学、ランチの会、夏祭り、ふれあい地域交流会、バス旅行等）

- ・事業の有効期間が平成 31 年 3 月 31 日に満了を迎えたため、更新申請を行い完了しました。

V. 相談支援事業 事業報告

1. 相談支援強化事業

近隣1市2町（高砂市・稲美町・播磨町）の相談支援強化事業を受託し専門職員を派遣、市町窓口にて相談業務に従事しました。高砂市については、基幹相談支援センターの設置により平成30年度で受託が終了しました。

<平成30年度の各市町からの受託料>

高砂市（月曜日）	1,152,000円
稲美町（火曜日）	1,152,000円
播磨町（金曜日）	1,152,000円
合計	3,456,000円

2. 計画相談支援・障害児相談支援

指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業の契約者数は、平成31年3月末時点で495名です。昨年度末と比較すると14名の増となりました。

請求件数は、年間2,190件、月平均182.5件でした。平成29年度の実績が年間2,021件であったため昨年度と比較して169件の増となりました。

事業所体制としては、平成30年9月より質の高いサービスを提供する事業所と評価される特定事業所へと移行しました。

職員体制としては、平成30年度中に1名が相談支援従事者初任者研修を修了したことで平成30年12月より相談支援専門員の総数が6名となりました。

地域との連携としては、加古川市障害者自立支援協議会の相談支援専門部会に参加し毎月の部会に相談員を派遣しました。

3. 地域移行支援・地域定着支援

地域移行支援については、平成30年度中にサービス提供がありませんでした。地域定着支援については、平成29年度からの継続で平成30年8月まで対象者1名と契約をしていましたが9月以降は契約者が0名となりました。

地域移行支援・地域定着支援を実施している指定一般相談支援事業者の有効期間が平成31年3月31日までであったため、指定更新を行い次年度に向けて体制を確保しました。

4. 基本相談

相談員が1名事務所に在席して基本相談に対応できるよう体制を整えました。毎週1回開催している相談員連絡調整会議の中で勉強会や事例検討会を実施して相談支援専門員の資質向上に向けた取り組みを行いました。